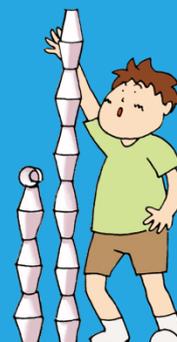


令和4年度 合同夏期ゼミナール



令和4年8月19日(金)9:00~12:00

ー前半の部ー

1. 開会の言葉
2. 岐阜県研究の方向
3. 研究実践発表[飛騨地区研究調査委員 高山市立日枝中学校 榎本 賢司教諭]
4. 西濃大会について
5. ご指導[岐阜県教育委員会 教育研修課 課長補佐 清水 也人様]
6. 閉会の言葉

ー休憩 10分ー

ー後半の部ー 11:05~

《記念公演》

演題:「人とつながる 社会とつながる美術館」

講師:岐阜県美術館 副館長兼学芸部部长 正村 美里様

ー諸連絡ー

<接続方法>

- ・本会は Webex によるリモート会議で行い、当日8:30より接続確認及び入室することができます。

入室用 ID : 2517 860 4693 パスコード : PhJs9pTJ6B2

接続 URL : <https://gedu.webex.com/gedu-jp/j.php?MTID=m624bf45ae201bc16b5776c70f02ee0ca>

- ・入室後は、ビデオ・マイクを OFF にしてください。発表等へのご意見・ご感想は、チャットにて受付いたします。

令和4年度研究の方向について

研究部

1. 研究主題

2022 ぎふ・西濃大会研究主題

ひとりひとりに「つくる喜び」を

～「つながり」を生かし、資質・能力を育む造形美術教育 ひと・もの・ちから～



2. 研究内容

研究内容1

育みたい資質・能力を整理し、「つながり」を生かした題材づくり

- ① 題材で育みたい資質・能力の明確化
 - ・技能を働かせて表す活動・発想や構想する活動
 - ・鑑賞する活動・共通事項
- ② 「つながり」を生かした題材設定の工夫
 - ・ひと(子ども, 地域人材など)
 - もの(施設や産業, 材料, 文化など)
 - ちから(題材, 系統, 他教科など)との、「つながり」を明らかにする

研究内容2

ひとりひとりの資質・能力が十分に発揮できる授業づくり

- ① 子どもの実態(発達段階や特性, 作品に対する思い)を生かした指導の工夫
 - ・学習環境づくり・資料提示の仕方・教師の言葉かけ
- ② 「つながり」を生かす学習の進め方の工夫
 - ・学習の必然性をもたせる導入
 - ・発想や構想を膨らませる提示
 - ・技能を高める活動
 - ・意味や価値を実感する評価

研究内容3

「つながり」の中で子どもの資質・能力を育む指導体制づくり

- ① 指導力向上のための教師同士の「つながり」づくりの工夫
 - ・郡市教研との連携
 - ・SNSの活用
 - ・材料, 用具, 資料等の共有化

研究推進の重点①・・・教科書題材を中心に、「つながり」を生かす授業実践のひと工夫

今年度は教科書題材を中心に研究を進めていきたいです。教科書題材を「つながり」という視点から捉え、指導のひと工夫を加えることによって、学びが深まり、ひとりひとりが「つくる喜び」を実感することにつながると考えました。

研究推進の重点②・・・「つながり」の生かし方を工夫する

研究部ではこれまでの実践の中で様々な「ひと・もの・ちから」との「つながり」を生み出し、題材づくりを進めてきました。魅力的な「つながり」をより効果的に生かすために、指導計画の中で、どの時間にどのように「つながり」を生かした指導を行うのかを明らかにし、実践を進めていきます。

「つながり」を生かす

～題材・子どもが発想・構想～

高山市立日枝中学校

榎本賢司

上宝地域の特色

- ▶ 古くから伝わる伝統的な祭り・昔話・それらにまつわる名所が多い
⇒ 天神祭り、子ども祭り、石仏、ねずみ石、水梨橋、十三墓峠etc・・・
- ▶ 一方で、祭りの由来や昔話を知っている人、興味をもっている人は少なくなってきた

ひとりひとりに「つくる喜び」を

～「つながり」を生かし、資質・能力を育む造形教育 ひと・もの・ちから～

ひと

子ども・ひとの「つながり」

子ども同士の対話的な学び
教師の指導連携や指導体勢づくり
地域人材やゲストティーチャーの活用

「つながり」

ちから

学習・題材の「つながり」

題材同士の関連
資質・能力の系統
他教科・他領域の学び

地域の大切な「もの」が
つながらない危機！！

特色
産業
や用具

はじめに

題材名「お面で残す本郷の歴史」

(参考：日文5,6年上「言葉から思いを広げて」)



- ▶ 地元にもつわる昔話の登場人物の気持ちを考えて、気持ちに合うように工夫してお面を描く題材

資質・能力

言葉（物語）から想像を広げて描く活動を通して、地域につながる物語への思いを深める

はじめに

ちからの「つながり」

ちから

資質

学習・題材の「つながり」もの

題材同士の関連

資質・能力の系統

他教科・他領域の学び

の

の「つながり」

文化

はじめに

題材名 「まだ見ぬ世界」 (日文5,6年上)

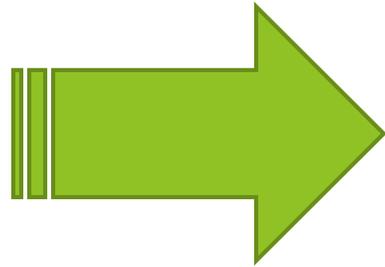


▶ 写真を切り抜き、物語の世界が表れるように平面で表現するという題材

資質・能力

写真から想像を広げて描く活動を通して、見たことのない世界を広げていく。

はじめに



はじめに

▶ 資質・能力のつながり



「お面で残す本郷の歴史」

知識・技能

物語から感じたことを形や色でとらえ、表し方を工夫する。

思・判・表

物語からイメージしたことに合う、形や色などの構成を考える。

学びに向かう力・人間性等

物語からイメージを広げたり、絵に表したりすることを楽しむ。



「まだ見ぬ世界」

知識・技能

写真や物語から想像したことに合う形や色を見つけ、表し方を工夫する。

思・判・表

写真の形や色、感じから想像を広げ、どのように表すのか考える

学びに向かう力・人間性等

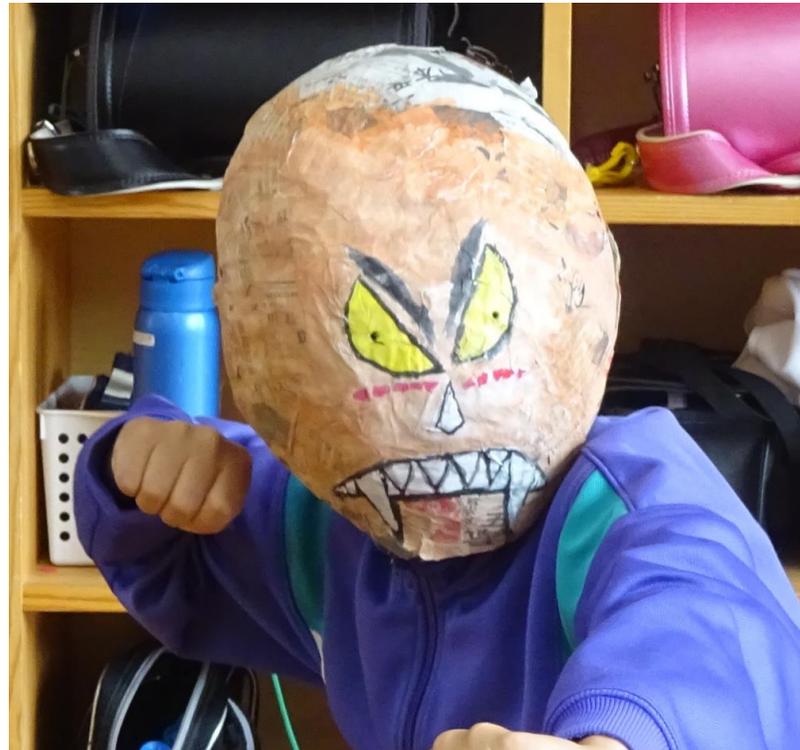
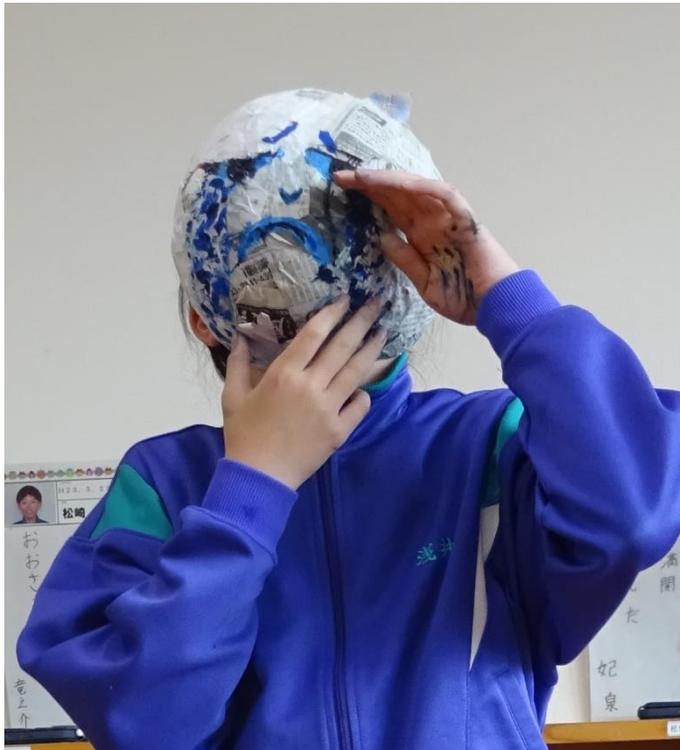
写真や物語から想像を広げて表すことを楽しむ。

お面で残す本郷の歴史



題材に「お面」を選んだ理由

- ▶ 祭りで使われるお面：感情や状況が伝わる
- ▶ お面を被って登場人物になりきることで、より地域に伝わる昔話に愛着をもつことができる。

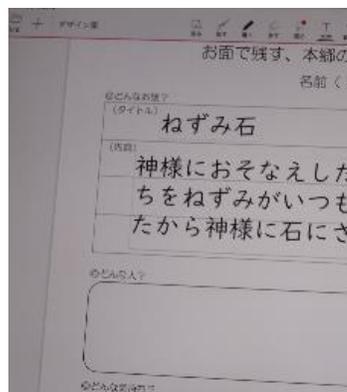


「お面で残す本郷の歴史」

製作の流れ



①残したい昔話



②登場人物の気



着色

「お面で残す本郷の歴史」

▶ 製作後・・・



「お面で残す本郷の歴史」

▶ 製作後・・・



まだ見ぬ世界



▶ 写真を切り抜き、物語の世界が表れるように平面で表現するという題材

製作の流れ

- ① 写真から想像を広げてどのような世界を表すのか考える。
- ② 写真から想像した世界に合う資料を集める。（写真、インターネット）

③ 下描きをする。



④ 色塗りをする。



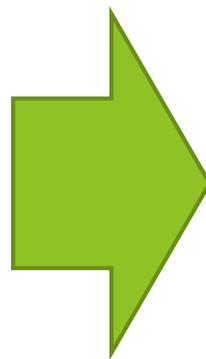
「まだ見ぬ世界」



題材同士をつなげてみて

ちからの「つながり」

▶ 児童の気持ちをつなぐ（主体的な学び）



題材同士をつなげてみて

ちからの「つながり」

▶ 資質・能力のつながり



成果と課題

- 子どもの「やりたい」という気持ちをつなげることができた。
- 題材のつながりを意識したことで、自ずと資質・能力のつながりも生まれる。
- ICT機器を活用することは表現するための資料集めや、アイデアスケッチを行う際に非常に有効であると実感

成果と課題

- 作品の発想を広げる際に、写真以上に物語に引っ張られてしまった。
- 「背景」の違和感と、「服装」の違和感。
- 年度初めに年間指導計画を立てる際、年間を見据えた計画を立てていくことで、さらなるつながりが生まれる。

西濃大会 研究構想

県の研究主題

ひとりひとりに「つくる喜び」を

～「つながり」を生かし、資質・能力を育む造形美術教育 ひと もの ちから～

西濃の研究主題

つながりの中で、主体的に色や形などと豊かに関わることを通して、 確かな技能と豊かな発想や構想で、造形活動に生き生きと取り組む子どもの育成

〈研究主題設定の理由〉

これからの予測が困難な時代に、各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開していくことは、学習指導要領の完全実施に込められた願いである。そこには、豊かな創造性を備え持続可能な社会のつくり手となることが期待される子どもたちに、「知識及び技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性の涵養」の3つのことを発達の段階や特性を踏まえつつ、偏りなく実現することが望まれている。

そのような中で、図画工作科・美術科は、表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活の中の形や色、美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指している。創造的な技能、発想や構想の能力、鑑賞の能力などの資質・能力を育成したり、関連させて働かせたりする営みの中で、つくり出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う本教科の担う役割は大きいと考える。こうした理想とは裏腹に現状は、会員の減少、専門的な立場からリードする教員が各校にいないなどの課題がみられる。さらに、教員の新旧入れ替わりに伴い、これまでに蓄積されてきた教材研究、指導方法等のノウハウ等が十分に引き継がれるかという点でも心配されている。こうした現状に鑑み、目指す資質・能力をより確かに育むために、「ひと」「もの」「ちから」のつながりを生かし、これまでにない多面的なつながりを大切にして、主体的に造形活動に取り組む子どもを育成したいと考える。

西濃地区は、西方の山間部から南方の平野部まで広い地域をもち、それぞれ独自の文化を有し、多様である。その地域性を図画工作科・美術科の題材等に生かすことは、西濃に生きる子ども達を育てるとともに、郷土愛を育むなど、教育的効果が期待される。しかし、現時点での課題は、小学校では教科書を中心とした教材研究や指導方法の工夫改善、また中学校では子どもの実態に合ったつきたい力を明確にした題材開発や指導方法の工夫改善であると考える。その上に立って、地域性や地域素材を生かすという視点を持つことで、学校の独自性を保ちつつ、偏りを改善することができる。こうした視点無くして、前回大会の成果と課題を引き継ぐことはできないと考える。子ども達が、多様なつながりの中で、主体的に色や形などと豊かに関わる授業や体験を通して、確かな技能と豊かな発想・構想の能力を育み、自分のやりたいことが「できた」「描けた」「表現できた」などといった自己実現を積み重ねていく中で、主体的な深い学びへとつながることを目指したい。

以上のことを踏まえ、西濃の研究主題を設定した。この主題を具現することが県の研究主題に迫ると考える。

研究内容及び研究方法

1 「つながり」を生かし、育みたい資質・能力を整理した題材の指導の工夫・改善	2 ひとりひとりの資質・能力が十分に発揮できる学習の進め方と評価の工夫	3 生活や地域とのつながりと、教科書を生かした題材開発と指導のポイントの明確化
--	-------------------------------------	---

- I. 県下の研究調査員と連携し、西濃各地の教科研究会や実践の交流をすることを通して、教科書題材や地域題材などの指導方法についての検討及び情報共有を図る。研究授業等の実践例を蓄積し、題材開発や指導方法の工夫改善のポイントを明らかにする。→1人1実践の資料化とデジタル上での共有と活用
- II. 各市町の研究会部長の連携を密にし、研究会の相互乗り入れを行うなど、交流の活性化を図る。西濃各地域の作品を交流することで、互いの地域性のよさを認め合うとともに、共通して大切な指導内容を明らかにする。
- III. 新学習指導要領を踏まえ、共通事項から見た指導過程の工夫を行い、育みたい資質・能力を共有することで、各会員の資質向上につなげ、子どもたちにつくる喜びを味わわせる。

ひとりひとりに「つくる喜び」を

～「つながり」を生かし、資質・能力を育む造形美術教育 ひと もの ちから～

西濃地区の研究主題

つながりの中で、主体的に色や形などと豊かに関わることを通して、
確かな技能と豊かな発想や構想で造形活動に生き生きと取り組む子どもの育成

ひと

子ども・ひとの「つながり」
子ども同士の対話的な学び
教師の指導連携や指導体制づくり
地域人材やゲストティーチャーの活用

Bottom Up

支え合い高め合う仲間

「つながり」を生かし、

資質・能力を育む造形美術教育

ちから

学習・題材の「つながり」
題材同士の関連
資質・能力の系統
他教科・他領域の学び

Let's do it

だれでもできる楽しい題材

もの

場所・特色の「つながり」

地域の特色・文化
施設や産業
材料や用具

Originality

〇〇ならではの魅力発信

西濃 LBOプラン



L

「つながり」を生かし、育
みたい資質・能力を整理した
題材の指導の工夫・改善

B

子ども・ひとが「つなが
り」、ひとりひとりの資質・
能力が十分に発揮できる学
習の進め方と評価の工夫

O

生活や地域との「つなが
り」と教科書を生かし、資
質能力を確かに育む指導の
ポイント

- I 県下の研究調査員と連携し、西濃各地の教科研究会や実践の交流することを通して、教科書題材や地域題材などの指導方法の工夫改善のポイントを明らかにする。 →1人1実践の資料化とデジタル上での共有と活用
- II 各市町の研究会部長の連携を密にし、研究会の相互乗り入れを行うなど、交流の活性化を図る。西濃各地域の作品を交流することで、互いの地域性のよさを認め合うとともに、共通して大切な指導内容を明らかにする。
- III 学習指導要領を踏まえ、共通事項からみた指導過程の工夫を行い、育みたい資質・能力を共有することで、各会員の資質向上につなげ、子ども達につくる喜びを味わわせる。



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

大地のこどもたち2023

3年に1度、いよいよ来年夏休み開催!

2023年 7月29日(土)
~8月27日(日)

岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー I



2005年から3年に一度開催している、県内の小、中、特別支援学校でつくられた「やきもの」の作品を展示する展覧会です。前回は800点以上の作品を展示しています。

『大地のこどもたち2023は・・・』

☆陶芸作家の作品を展示する、前回よりも大きなギャラリーで展示します。スポットライトを当てたり、キャプションをつけたりして展示します。

☆作品は審査をし、入賞者は表彰式で表彰します。

☆出品者、入賞者に賞状(出品証)をわたします。

☆共同作品や大きな作品もOK!

子ども達の「エネルギー」あふれる
展覧会にぜひ、ご参加ください!

詳細、お問い合わせ先は開催要項をご確認ください。



開館20周年記念

ロマンティック

プロGRESS



2022年
9.17(土)

↓
11.13(日)

岐阜県現代陶芸美術館
ギャラリーI

| 開館時間 |

10時—18時(最終入館17時30分まで)

| 休館日 |

月曜日(ただし9月19日、10月10日は開館)、9月20日、10月11日

| 観覧料 |

一般1,000円(900円)、大学生800円(700円)

高校生以下無料 * ()内は20名以上の団体料金

* 以下の手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証

主催：岐阜県現代陶芸美術館 共催：中日新聞社

川端健太郎

桑田卓郎

アルベルト・ヨナタン・セティアワン

田中陽子

田村麻未

橋本知成

榎本佳子

宮下サトシ

安永正臣

湯口萌香

中崎透



岐阜県現代陶芸美術館

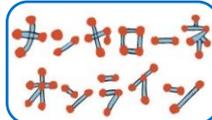
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)

TEL.0572-28-3100 FAX.0572-28-3101 URL:<http://www.cpm-gifu.jp/museum>



ICT 活用関連事業のご案内



岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

〒500-8368 岐阜市宇佐 4-1-22
TEL:058-271-1313
FAX:058-271-1315

美術館に行けなくても、学校や自宅で岐阜県美術館を楽しめる！
学校の学びと、美術館の教育普及事業をつなげてみませんか？

1 作品鑑賞

- ◎作品画像の鑑賞（部分拡大、縮小、自由な角度からの鑑賞が可能）
- ◎お気に入りの場所にARで作品を展示して撮影したり、動画撮影の場合は話しながら鑑賞する様子を記録に残したりすることも可能（通常の写真フォルダに保存可能）

利用媒体	事業名	概要・備考・利用方法	QRコード
タブレット スマートフォン	① Google Arts & Culture	オディロン・ルドンや山本芳翠はじめ、岐阜県美術館が所蔵する代表的な作品を、AR技術により好きな場所に展示し、鑑賞、撮影することが可能。(画像ページ内に「AR(拡張現実)で見る」と表記のある作品のみ) ※ 専用アプリ「Google Arts & Culture」が必要 ※ 平面作品向け ※ 55点鑑賞可能(2022年2月現在)	 アプリでご覧いただくとAR機能が利用できます

【利用方法】

1. Google Play または App Store から、「Google Arts & Culture」をインストール

2. 岐阜県美術館トップページ下の「アイテム」から好きな作品を選択



3. 作品画像の下にある AR (拡張現実) で見る を押す

4. 展示したい場所で作品をタップするかドラッグする。

5. 実際の作品サイズをもとに AR 表示される。撮影ボタンのタップで写真撮影、長押しで録画(同時に録音)ができる。



自分が動いて角度を変えても、現実と同じ視点で鑑賞できる！

作品に近づいていくと、細部の描き込みまで鑑賞できる！

画面右下の展示切り替えボタンを押すと、展示壁が出現する！



タブレット スマートフォン	② おうちに居ながら美術館	岐阜県美術館の所蔵作品を、AR技術により好きな場所に展示し、360度どの角度からでも鑑賞、撮影することが可能。 ※ 専用アプリ「STYLY」が必要 ※ 立体作品向け ※ 17点鑑賞可能(2022年2月現在)	 利用方法紹介ページ(県美 Web サイト)
------------------	------------------	--	---------------------------

ふるさと教育の一環として、岐阜ゆかりの作家作品を鑑賞してみませんか？

2 ワーク

◎作品鑑賞と併せて、自分の思いや考えを表現する

ワーク内容	事業名	概要・備考・シート紹介	QRコード
ぬり絵・たし絵	③ #岐阜県美 ワークシート	岐阜県美術館の所蔵作品等をもとにしたぬり絵やたし絵のワークシート。岐阜県美術館 Web サイトからダウンロードして利用する。 ※ 5シート利用可能(2022年2月現在)	 ダウンロードページ (県美 Web サイト)

くものあしをかいてみよう



くものあしをかいてみよう

くものあしをかいてみよう

オディロン・ルドン (1840-1916年) (蜘蛛) 1887年制作

フランスの画家オディロン・ルドンによる、リトグラフという版画の作品です。蜘蛛の足は数多くありますが、この足は蜘蛛の足が18本あります。これはルドンの表現によるものとされています。

このくもはどんなくも？

くものかおに あしをじゆうにかきたぞう！ いろもぬってみよう！

岐阜県美術館

なまえ () さい

オディロン・ルドン《蜘蛛》1887年

わたしの「ぬまのはな」をかいてみよう



わたしの「ぬまのはな」をかいてみよう

オディロン・ルドン (1840-1916年) 《沼の花》1880-1885年制作

フランスの画家オディロン・ルドンが、木炭で描いた作品です。ルドンはこの作品を始め、いくつかの作品で、人魚の顔の花を咲かせる奇妙な植物を描いています。この作品では、この花が、飛んでいる鳥の大きさに比べて非常に巨大なサイズに描かれており、その存在の真実さに対する驚きが強調されています。

花というのは、「源よりも一層小さく、深みも一層濃縮された」(青川重雄)で、植物が生えていたり、いらいらしたものだったりしているところですが、何かに事柄になること(一羽にはまる)と書いている人もいます。皆さんも想像力をくまらせて自分だけの花を咲かせてみましょう。

ルドンの このえは どんなぬまに さく どんなはなだと かんじましたか？

あなたが かきたいのは どんなぬまに さく どんなはなですか？

岐阜県美術館

なまえ () さい

オディロン・ルドン《沼の花》

鑑賞ワークシート



鑑賞ワークシート

北 蓮蔵 (きた れんそう) (1878-1979年) (雌獅は明るくしてあります)

《午の憩》(ひるのいそ) (1916年制作) 絵師出身の洋画家、北 蓮蔵の代表作です。176.5cm×206.5cm という大画面に多くの人物が描かれています。雄獅、雌獅とその仲間、子供たち、動物が一層層に奥行きをえています。

Q1 この絵は どこにいます？

Q2 この絵は どこにいます？

Q3 どんなことを かんがえているんだろ？

Q4 この絵は どういうところで かんがえているの？

Q5 この絵は どういうところで かんがえているの？

Q6 この絵は どういうところで かんがえているの？

Q7 この絵は どういうところで かんがえているの？

Q8 この絵は どういうところで かんがえているの？

Q9 この絵は どういうところで かんがえているの？

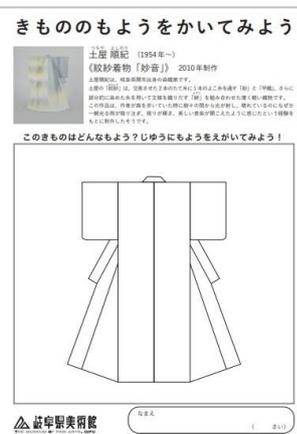
Q10 この絵は どういうところで かんがえているの？

岐阜県美術館

なまえ () さい

北蓮蔵《午の憩》1916年

きものもようをかいてみよう



きものもようをかいてみよう

土屋 順紀 (1954年-) 《紋紗着物「妙音」》2010年制作

土屋順紀は、岐阜県出身の洋画家です。2010年、岐阜県立美術館にて「土屋順紀展」が開催されました。この作品は、作者が得意な「紋紗」の技法を用いて、現代の文様を表現しています。この作品は、作者が得意な「紋紗」の技法を用いて、現代の文様を表現しています。

このきものはどんなもよう？じゆうにもうえをかいてみよう！

岐阜県美術館

なまえ () さい

土屋順紀《紋紗着物「妙音」》2010年

はなのいろをつけてみよう



はなのいろをつけてみよう

はなのいろをつけてみよう

モイズ・キスリング (1891-1953年) 《花》1928年制作

モイズ・キスリングは、スイス出身の洋画家、グラフィックデザイナーです。彼は、花のデザインに特別な才能を持っていました。この作品は、作者が得意な「花」のデザインに特別な才能を持っていました。

このはなはどんないろ？

キスリングのまぶらにもう、好きないろをつけてみよう

岐阜県美術館

なまえ () さい

モイズ・キスリング《花》1928年

《Such Such Such》 (サッチ サッチ サッチ)	④ #SuchatHOME	岐阜県美術館館長 日比野克彦のアートコミュニケーション作品《Such Such Such》を、美術館以外の場で楽しむ企画。作品を見て感じたことを、言葉ではなく物に置き換えたり、スケッチしたりして探る。	 実施方法紹介ページ (県美 Web サイト)
-----------------------------------	------------------	--	--

■ 教育普及イベントや展覧会の情報はこちらから！



県美 Web サイト



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube

学校と連携した活動のご案内

岐阜県美術館では、学校との連携を積極的に進めています。ぜひご利用ください。

子どもたちを対象に

■ 作品鑑賞（団体鑑賞）

○ 展示作品を前にした鑑賞

- ・ 企画展示室、所蔵品展示室、美術館ホールの展示作品や屋内外彫刻を、子どもたちと対話をしながら鑑賞します。
- ・ 簡単な造形体験との組み合わせも可能です。

■ 施設の見学

○ 生活科や社会科、総合的な学習の時間等に対応した体験活動

- ・ バリアフリーが活かされた館内施設や設備、バックヤードの見学をしたり、働く人たちの思いに触れたりします。

■ キャリア教育の充実

○ 地域の美術館の仕事をを知る

- ・ 総合的な学習や生活科などに対応した体験活動を行います。

○ 中学校・高等学校等対象の職場体験実習

- ・ 将来美術に関わりたいと願う生徒たちへの見識、職業観を広げます。

■ 出前授業・ワークショップ

- ・ 美術館スタッフが学校へお伺いし、先生方と協力して、子どもたちを対象とした鑑賞や表現に関連する授業・ワークショップを実施します。

※旅費のお支払いをお願いします。

※高校生以下は観覧料無料です。また、学校の教育活動で利用の場合、引率者の観覧料は免除対象になります。（事前手続きが必要）

※「簡単な造形体験」「出前授業・ワークショップ」は事前に内容の打ち合わせを行います。また、先生方と研修を行い、当日は先生方・美術館スタッフで協力し実施いたします。必要な道具等はお相談ください。材料費はご負担下さい。

先生方を対象に

■ 鑑賞指導及び表現技法の研修

○ 対話を中心とした鑑賞体験の研修

- ・ 企画展示室、所蔵品展示室、美術館ホール、屋内外彫刻などを利用します。

○ 表現技法の研修

- ・ 現場ですぐに生かせるような、水彩絵の具の使い方などを解説します。

○ 各種「アートゲーム」紹介

○ 子どもの絵の見方、鑑賞会の持ち方 など

■ 美術の専門性を磨く研修

○ 美術の専門的な知識向上

- ・ 「企画展の作品」「現代美術」「岐阜県ゆかりの作家たち」「美術作品の保存と修復」などを、学芸員が解説します。

資料の貸し出し

■ 出前講座・研修

- ・ 美術館スタッフが学校にお伺いし、「アートゲーム」の利用や鑑賞する作品を前にした時の効果的な問いかけの紹介、表現技法の研修、子どもの絵の見方の研修などを行います。

※旅費のお支払いをお願いします。

※材料費はご負担下さい。

■ 鑑賞・学習の資料

○ アートゲーム

- ・ アートカードやパズルなど、楽しく学べる教材を貸し出し可能です。

○ 図版資料

- ・ 高画質の作品複製パネルを貸し出し可能です。

◆お申込みから実施までの流れ

作品鑑賞（団体鑑賞）の場合

- ①希望日より1か月前までに、電話またはFAXで以下をお知らせください。
 - ・団体名 ・希望の日時、展覧会
 - ・学年、参加人数 ・引率者人数
- ②日程など調整の上、実施日を決定します。
- ③当館 Web サイトより「団体鑑賞申込書（学校用）」と「観覧料等免除申請（承認）書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにて送信ください。
- ④造形体験を希望の場合は、実施日より2週間前までに事前打ち合わせを行い、内容などを決定します。
- ⑤「観覧料等免除承認書」を郵送またはFAXいたします。当日これをお持ちになり、館内受付にて団体名をお申し出ください。

出前授業・ワークショップの場合

- ①希望日より1か月前までに、電話またはFAXで以下をお知らせください。
 - ・団体名 ・希望の日時、内容
 - ・学年、参加人数
- ②日程など調整の上、実施日を決定します。
- ③実施日より2週間前までに事前打ち合わせを行い、内容などを決定します。
- ④当日、美術館スタッフがお伺いします。

← 団体鑑賞に必要な申込書及び申請書は当館 Web サイトトップページの左側にある学校関係者・団体各種申込みよりダウンロードできます。

※館内事情によりご希望日時での実施ができない場合がございます。ご了承ください。

◆お問い合わせ◆

岐阜県美術館 教育普及係 〒500-8368 岐阜市宇佐 4-1-22
TEL : 058-271-1314 FAX : 058-271-1315
Web サイト : www.kenbi.pref.gifu.lg.jp

「つながり」で 図画工作・美術の 楽しい授業づくり

みんなで行っていきませんか？



岐阜県教育研究会 小学校図画工作科・中学校美術科部よりお知らせ

BAND グループ「岐阜県図画工作・美術研究部会」

アプリ「BAND」は、連絡、スケジュール、紹介、ファイルの共有など、さまざまな機能が充実しています。グルーピングも可能で、各地区の活動を補助しながら、全体の流れも見られるように運営していきます。



登録は QR コードから。「学校名 名前」で登録 いただくようお願いします ↑

岐阜図工・美術 NET

岐阜の図画工作と美術を考える
岐阜図工・美術 NET

BAND グループ内での活動内容やお知らせなどを整理し、県外機関等、外部向けの情報をまとめる Web サイトとして正式に発足いたしました。指導計画の例や各地区実践、資料の配付等もこちらで行います。ぜひ「お気に入り(ブックマーク)」してください。



<https://gifu-zukou.net>